

三隅山荘

三隅山荘は、村田清風の旧宅である。清風がこの地に誕生して十九歳までと、六十三歳で隠退して七十三歳で亡くなるまでの、約三十年間を清風はこの旧宅で起居した。

この旧宅は道路側中央に木戸門を設け、母屋の北側は広い庭があり、樹齢約一八〇年の五葉の松が、豪雪の被害を受けながらも、今も閑かに山荘を見守り、往時を偲ばせている。また、道路に沿って粉

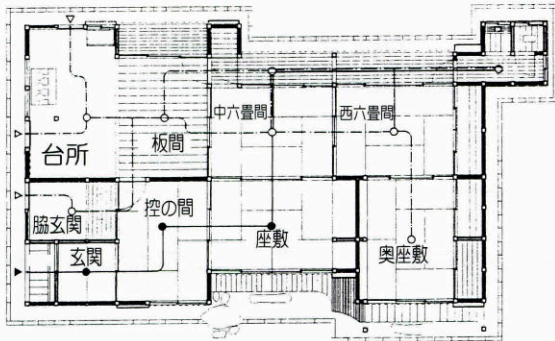
貯蔵庫・厩・納屋が並び、母屋南側には井戸や風呂場を設けている。この旧宅の創建は史跡指定の沿革説明では、清風誕生の前年天明二年（一七八二）とあるが、確かな史料がなく不明であるが、天明年間には建てられていたものと思われる。旧宅の母屋は茅葺とし敷地内には、粉貯蔵庫や厩が置かれているなど、外観は一般農家と差異はないが在郷武士の武家住宅としての要素を備えている。

妻入りの建物の表側には、簡素な式台を構えた玄関が、その隣に土間床の家人用脇玄関を設けている。式台付き玄関を入ると控の間、床を備えた座敷へと続く一連の接客空間をなす構成は、武家住宅の特徴である。座敷の奥の奥座敷は、清

風の書斎と寢室を兼ねた部屋と思われる。また、この座敷と奥座敷の土壁は色土塗り仕上げとし、他の部屋よりも格を高めているのも特徴である。母屋の裏側全体は家人の居住空間が続いている。

旧宅はこうのように、母屋中央を境に表側を接客空間、裏側を居住空間とする武家住宅の平面構成をなしているが、土間など作業空間的な部分は農家の様式により近いといえる。

▲三隅山荘平面図



▲ 客人入口 △ 家人入口 ● 接客空間 ○ 居住空間
— 客人導線 — 家人導線

三隅町文化財専門委員会

皆さんお元気です

三隅町敬老会



9月14日(金)、農業者トレーニングセンター多目的ホールにおいて、敬老会が開催されました。敬老会には、町内の75歳以上の方259名が出席し、式典とアトラクションで楽しいひとときを過ごしました。

式典では、県知事をはじめ多くの祝辞が寄せられ、三隅町最高齢101歳の西田貞子さん（豊原）や今年度100歳となる田村豊作さん（滝坂）に記念品が贈られました。

野波瀬保育所の園児によるお祝いの言葉や合唱、日本舞踊、三味線の演奏などに、会場内は盛り上がり、出席者には笑みがこぼれていました。



三隅八幡宮秋季例大祭

9月15・16日は、毎年恒例の三隅八幡宮秋季例大祭。

16日には、滝坂神楽舞保存会により、「足均し」「弊四天」など5つの演目が奉納されました。また今年は市自治会と豊原自治会の腰輪踊りが披露され、太鼓や楽の音に合わせて舞う華やかな姿に、参拝者も足を止めて見入っていました。

